

令和7年2月28日

保護者様

柏市立土小学校  
校長 小宮山 みゆき

## 学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートのご回答ありがとうございました。本校では「目指す子どもの姿」の実現に向けて、土地域を教材とした学習単元や学年担任制、縦割り活動や学習空間の工夫、問い合わせを大切にした授業づくり等に取り組んでいます。例年、学校評価アンケートは学校運営の基となる学校経営グランドデザインに対する評価改善をねらいとしていますが、今年度は評価項目を「目指す子どもの姿」となっているかどうかを問う形に変更しました。本アンケートを今後の教育活動に活かしてまいります。

### 学校評価アンケート結果概要

#### ・グラフ(数値の見方)について

質問に対して「すごくそう思う そう思う あまり思わない 全然思わない わからない」で回答してもらい、わからないを除く4つを得点化して、平均値を示しました。3.0以上であれば概ね満足できるとし、3.2以上は大いに満足できるとみます。2.8以下については、課題が大きい・理解が不十分であるとみます。※小数第3位は四捨五入

※数値(ポイント)やパーセンテージについての詳細はこちらからご確認ください

[①学校評価アンケートグラフ](#) [②学校評価記述内容](#)

#### ・「目指す子どもの姿」について ※ は保護者・児童・教職員それぞれの最小 最大

児童の認識では概ね満足できる結果となっています。一方で、保護者・教職員の認識との差が大きいものもあり、児童の自己肯定感を維持しながら質を高めていく必要もあると考えます。

目指す子どもの姿	保護者	児童	教職員
自分を知り、自分を表現する	2. 97	3. 19	3. 10
他者を認め、他者と助け合う	3. 14	3. 34	3. 14
目標を持って、調整しながら、粘り強く取り組む	3. 00	3. 30	2. 98
実生活と学びを結びつける	3. 03	3. 17	3. 35

#### 「自分を知り、自分を表現する」について

3つの項目の平均値は、保護者2. 97 児童3. 19 教職員3. 10(保護者・児童・教職員全体3. 09※参考値)となりました。各項目ともに家庭では見えにくい面がありますが、教職員が授業において児童の「知りたい」「わかりたい」や日常生活とのつながりを意識することで、児童が問い合わせを持って学習を進められています。引き続き、児童が主体性をもって取り組めるよう授業改善をすすめています。

#### 「他者を認め、他者と助け合う」について

3つの項目の平均値は、保護者3. 14 児童3. 34 教職員3. 14(保護者・児童・教職員全体3. 21※参考値)となりました。学校だけでなく、家庭でも人の話を聞いたり、役割分担をしたりする姿が見られているようです。児童にとって一番の強みと言えます。学校でも日頃から授業の中でグループ活動や体験活動等を取り入れ、友達や地域の方の話を聞く場面を設定しています。また縦割り活動の機会を多くとるようにしていることも児童を高める手立てとして有効だと考えています。

### 「目標を持って、調整しながら、粘り強く取り組む」について

3つの項目の平均値は、保護者3. 00 児童3. 30 教職員2. 98(保護者・児童・教職員全体3. 09※参考値)となりました。児童と保護者・教職員の認識の差が大きくなっています。児童は目標を持って取り組んでいるようです。一方で、教職員は児童が「トライ＆エラーをしながら取り組む」については課題として認識しています。取り組み内容に対してフィードバックをする機会や改善する時間を確保していますが、よりフィードバックの質を高め、具体的かつ児童にとって更なる改善につながるような手立てを今後考えてまいります。

### 「実生活と学びを結びつける」について

2つの項目の平均値は、保護者3. 03 児童3. 17 教職員3. 35(保護者・児童・教職員全体3. 18※参考値)となりました。校内研究の重点として取り組んできたため教職員の意識や児童への評価(見取り)は高くなっています。一方で児童の意識との差があるため、児童が生活と学校での学びのつながりに実感をもち、より積極的に活かしていくうと思えるように、引き続き授業改善に取り組んでまいります。

(参考 「目指す子どもの姿」の各項目の最大値および最小値)

項目	保護者	児童	教職員
最大	「他者を認め、他者と助け合う」 役割分担をして取り組むことができていますか [3. 17]	「目標を持って、調整しながら、粘り強く取り組む」 最後まで目標を持って取り組むことができていますか [3. 38]	「実生活と学びを結びつける」 学んだことを生活などでいかしていますか [3. 41]
最小	「自分を知り、自分を表現する」 問い合わせを持って学習を進めていますか [2. 91]	「実生活と学びを結びつける」 生活の中で疑問や不思議に思ったことを授業の中で意識して学んでいますか [3. 14]	「目標を持って、調整しながら、粘り強く取り組む」 トライ＆エラーをしながら取り組めていますか [2. 76]

・その他の項目について

### さくらシートの取り組みについて

2つの項目平均値は、保護者2. 83 児童3. 27 教職員3. 22(保護者・児童・教職員全体3. 11※参考値)となりました。児童・教職員ともに「さくらシート」が対話的に自己理解をするために役立っていると認識しています。一方で、家庭での活用の難しさもうかがえます。家庭での活用方法について検討していきたいと思います。

### 相談体制について

2つの項目平均値(児童は1項目)は、保護者3. 04 児童3. 15 教職員3. 41(保護者・児童・教職員全体3. 20※参考値)となりました。学年担任制をはじめ、相談ポスト、年3回の「困ったことありませんかアンケート」、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携により児童も保護者も概ね安心いただけていると考えます。引き続き、相談体制の充実に努めてまいります。ご心配なことやお子様に関する相談等あれば教頭、担任までお知らせください。